

空き家を地域のたに 『地域未来にぎわい工房』に参画



町は、株式会社JTBおよびAirbnb JAPAN株式会社と連携し、空き家や遊休施設を活用する全国初の共生型プロジェクト『地域未来にぎわい工房』に参画しました。

本事業は、多様な企業や団体が参加し、空き家などを『泊まれる場』として再生することで、さまざまな滞在ニーズに対応することを目指す取り組みです。

ワークショップやDIYイベントを実施し、現在、2棟の空き家が宿泊施設へと転換されました。

今後は、再生可能エネルギーや教育、企業研修、防災分野とも連携しながら、まちづくりの新しいモデルを発信していきます。

函館地区大会4位入賞！ NEXUSが道南ブロック大会進出



11月8日(土)・15日(土)、北斗市総合体育館で開催された第44回函館地区ミニバスケットボール秋季大会に、『NEXUSミニバスケットボールクラブ』が出場しました。

同クラブには町から4名の生徒が所属しており、同クラブの一員として大会に参加しました。

函館地区から強豪チームが集まる中、選手たちは粘り強いプレーで勝ち進み、見事第4位の成績を収めました。

この結果を受け、同クラブは2月22日(日)・23日(月)に苫小牧市で開催される道南ブロック大会への出場が決定しています。今後の活躍にもぜひご期待ください。

命を守る行動を学ぼう ヒグマ安全教室



11月12日(水)、上ノ国小学校で『ヒグマ安全教室』が開催され、檜山振興局職員を招いてヒグマに関する講話が行われました。

児童たちは、ヒグマの生態やその習性など、基本的な知識を学びました。

その後、もしヒグマに遭遇してしまった場合の対処方法として、ヒグマ撃退スプレーの正しい使い方や腕を組み地面に伏せて身を守る方法など、命を守るための行動を実演を交えながら勉強しました。

今回の教室を通じて、身近な自然と向き合っていくために必要なことを学び、安全意識を高める貴重な機会となりました。

未来の協力隊候補が町を体験 おためし移住ツアー開催



町では空き家の増加が大きな課題となっており、空き家の改修や不動産管理を担う地域おこし協力隊の『おためし移住ツアー』を11月15日(土)から17日(月)に開催しました。

ツアーでは、町内の空き家を実際に見回り、現状や活用の可能性について学んだほか、DIY体験として床材の張り替え作業にも挑戦しました。

参加した佐々木氏は「関係団体の皆様のおかげで解像度の高い移住ビジョンを感じることができた」と感想を述べました。

町では、今後も空き家の利活用に向けた取り組みを進めるとともに、地域の力として活躍する協力隊員の募集を進めていきます。